

＊ 地域フォーミュラリと薬局薬剤師

Summary

わが国で初めて地域フォーミュラリが山形県酒田地区で実施されてから四年近くが経過した。現時点ですでに複数の地域で実施され、あるいは導入が具体的に検討されている。今後は加速度的に導入する地域が増えて行くだろう。こうした実際の事例を研究対象にした厚労科学特別研究事業による第二次フォーミュラリ研究班(第二次今井班)が本年4月から発足した。

この研究班では、全国の十数の地区で実施される地域フォーミュラリの導入および運営方法を抽出し、そこから「実施ガイドライン」を作成する計画である。これにより全国の様々な地域でフォーミュラリが容易に実施できるようになる。2024年度からの第四期医療費適正化計画に『地域フォーミュラリ』が盛り込まれる見込みになった。厚労省や財務省の内部でその詳細について今後詰めて行くことになり、また都道府県内では具体的な計画を立案するだろう。こうしたことから2024年度診療報酬改定でも何らかの形で評価されると考えられる。地域の薬局薬剤師は、地域フォーミュラリ実施に向けた準備をする必要がある。薬薬連携であり、地域の医師会との協働作業であり、また薬局の在庫管理、発注方法、医薬品の選択など、早めに体制を整えるべきだろう。

本講演では、わが国の地域フォーミュラリについて現状と展望をお話したい。

Instructor

今井 博久 先生

日本フォーミュラリ学会理事長



旭川医科大学医学部卒、北海道大学大学院修了(医学博士)。内科診療、米国留学、大学助手、講師、助教授を経て、2005年厚生労働省国立保健医療科学院の疫学部長に就任し、生活習慣病の予防施策研究を中心に薬剤疫学、医療経済学に従事。2017年より研究の拠点を東京大学大学院に移し(医学系研究科地域医薬システム学講座教授)、医師薬剤師連携の方法論開発や薬剤疫学を行う。2022年4月から現職の帝京大学大学院公衆衛生学研究科教授に着任。専門分野はパブリックヘルス、薬剤疫学。

Details

2023年1月29日(日) 13:00~16:00

開催情報

会場: zoomを利用したオンライン会場

接続方法等はお申し込みいただいた方に個別にご案内いたします。

定員: 30名 単位: 2.0単位

受講費

会員: 10,000円(税込)

非会員: 13,000円(税込)

